

## 指定管理者候補者の選定結果について

新潟市北区役所健康福祉課所管の北区豊栄健康センター及び豊栄さわやか老人福祉センターについて、以下のとおり候補者を選定しました。

施設名	北区豊栄健康センター・豊栄さわやか老人福祉センター		
所在地	新潟市北区東栄町1丁目1番35号		
指定管理者申請者 評価会議	<p>第1回 評価会議</p> <p>委員 渡邊 敏文 (新潟医療福祉大学教授)</p> <p>委員 風間 良光 (風間良光税理士事務所所長)</p> <p>委員 鈴木 善正 (すずき労務管理事務所所長)</p> <p>委員 貝沼 英樹 (北区老人クラブ連合会会長)</p> <p>委員 五十嵐 隆吉 (葛塚東小学校区コミュニティ協議会会長)</p> <p>委員 鶴巻 ヨシ子 (新潟市食生活改善推進委員協議会北支部支部長)</p> <p>第2回 評価会議</p> <p>委員 松山 茂樹 (新潟医療福祉大学社会福祉学科長)</p> <p>委員 風間 良光 (風間良光税理士事務所所長)</p> <p>委員 鈴木 善正 (すずき労務管理事務所所長)</p> <p>委員 吉井 健 (北区老人クラブ連合会葛塚支部支部長)</p> <p>委員 栗原 睦夫 (葛塚東小学校区コミュニティ協議会副会長)</p> <p>委員 鶴巻 ヨシ子 (新潟市食生活改善推進委員協議会北支部支部長)</p>		
指定管理者 (候補者)	社会福祉法人	新潟市社会福祉協議会	
	代表者	会長 関 昭一	
	住所	新潟市中央区八千代1丁目3番1号	
指定期間 (予定)	平成30年4月1日～平成33年3月31日		
選定理由	<p>北区豊栄健康センター及び豊栄さわやか老人福祉センターの指定管理者を募集したところ、1団体より応募があった。</p> <p>指定管理者申請者評価会議において、上記応募者から提出を受けた事業計画書等の資料及び応募者によるプレゼンテーションをもとに、事業計画の提案内容、収支計画書等について評価を行った。</p> <p>その後、評価会議における評価結果をもとに所管部署において検討した結果、上記応募者は指定管理者としての業務遂行能力を有するとして、指定管理者候補者に選定することとした。</p> <p>なお、上記評価会議の評価結果は別表のとおりである。</p>		
スケジュール	第1回評価会議	平成29年8月3日	
	募集要項配布期間	平成29年8月21日～31日	
	募集説明会	平成29年9月4日	
	質疑受付	平成29年8月22日～9月11日	
	質疑回答	平成29年9月19日	
	申請書類の受付期間	平成29年9月26日～28日	
	第2回評価会議	平成29年10月12日	
	今後、市議会での審議・議決を経て、指定管理者に指定される。		
所管部署	北区役所 健康福祉課	健康増進係 (電話 025 - 387 - 1340)	高齢介護係 (電話 025 - 387 - 1325)

【参考】現指定期間の評価（指定期間 平成27年4月1日～平成30年3月31日）

現指定管理者	社会福祉法人 新潟市社会福祉協議会
総評	<p>光熱水費や経費の削減に努め、予算の範囲内で、堅実かつ安定した管理運営を行った。</p> <p>利用者の満足度は非常に高く、施設の設置目的に沿った自主事業も積極的に開催した。事故を発生させることなく、併せて、利用者の平等性と安全安心を確保するなど、指定管理者として優良であると評価できる。</p>

別表（評価結果）

（数値は、各委員採点の平均値）

評価項目	配点	候補者
施設の平等利用が確保される	経営理念・経営方針	5点
	施設の管理方法	5点
施設の効用を最大限に発揮し、管理経費の削減が図られる	予算の範囲内での適正な執行	5点
	稼働率アップへの取り組み	5点
	事業計画の具体性・実現性	10点
	事業計画の提案内容	10点
	要望や苦情に対する対応	5点
	管理経費削減の具体的取り組み	5点
事業計画に沿った管理を安定して行う能力を有している	組織・人員体制	5点
	環境保護関係	5点
	社会貢献活動の実績	5点
	高齢者への配慮及び利用者へのサービス向上	10点
	事故防止や災害発生時の対応	10点
	個人情報保護関係	5点
	健康センターの安全・衛生管理	5点
	地域及び他の関係機関との連携と啓発	5点
合計	100点	84.8点

北区豊栄健康センター・豊栄さわやか老人福祉センター指定管理者候補者及び事業計画概要

項目	説明			
候補者	名称	社会福祉法人 新潟市社会福祉協議会		
	代表者	会長 関 昭一		
	設立	S31. 3. 29		
	従業員数	2, 030 人 (正職員 194 人 臨時・パート職員 1, 836 人) H29. 7. 1 現在		
	事業内容	社会福祉を目的とする事業の企画及び実施、共同募金事業への協力、ボランティア活動の振興、介護保険事業、福祉総合相談事業、障がい者自立支援事業、成年後見制度に関する事業など		
	施設管理実績	老人福祉センター黒埼荘、小須戸老人福祉センター、巻ふれあい福祉センター、豊栄さわやか老人福祉センター、北区豊栄健康センター、新潟市総合福祉会館など		
経営理念・経営方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域福祉を推進する中核的な役割を社会福祉法の中で規定された民間性と公益性を併せ持つ、社会福祉事業所として、「誰もが安心して暮らすことができる福祉のまちづくり」を推進することを使命とし、その使命を達成するために各種事業を展開している。</li> </ul>			
施設の管理方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・両施設とも、設置条例等を遵守し、施設の設置目的を効果的に達成するための施設運営に努める。</li> <li>・常に利用者のサービス向上を図り、かつ安全及び衛生管理に十分配慮した運営に努め、施設・設備・備品等の保守管理を適正に行う。</li> <li>・省エネルギー・省資源・廃棄物減量など環境への負荷軽減について努力していく。</li> </ul>			
予算の範囲内での適正な執行	(1) 北区豊栄健康センター		(2) 豊栄さわやか老人福祉センター	
	人件費	300, 000 円	事務費	247, 000 円
	管理費	4, 348, 000 円	事業費	205, 000 円
			合計	5, 100, 000 円
			人件費	2, 900, 000 円
			事務費	191, 000 円
			管理費	5, 879, 000 円
			事業費	130, 000 円
			合計	9, 100, 000 円
稼働率アップへの取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の生活上の悩みごと、心配ごとへの相談対応や介護・健康相談等に迅速対応できるほか、ボランティア活動の相談窓口として、高齢者の社会参加や介護予防の視点で支援・対応ができるメリットを活かしていく。</li> <li>・安全確保及び衛生管理に十分配慮した運営に努め、稼働率のアップにつなげていく。</li> </ul>			
事業計画の具体性・実現性、提案内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設を運営するにあたり、設置目的を達成するために「北区さわやかなんでも相談所」において、各種相談を行うとともに、健康増進や他の高齢者との交流を通じた生きがいがづくりを推進するため、健康体操、囲碁将棋大会やクリスマスカラオケ大会など、季節感のあるレクリエーションを提供していく。</li> <li>・介護予防・認知症予防の啓発事業も行っていく。</li> </ul>			
要望や苦情に対する対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・軽易な要望や苦情については職員がすぐに対応し、区健康福祉課との協議が必要な場合には、後程回答させていただき旨を丁寧に伝える。</li> <li>・苦情に対する迅速な処理体制をとるため、「福祉サービスに関する苦情解決制度実施要綱」を制定済みである。また、学識経験者等から第三者委員を選任し、必要に応じて、解決に向けた助言等を仰ぐこととしている。</li> </ul>			
管理経費削減の具体的取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経理規程において、契約の種類や金額に応じ、一般競争入札基準を定めているほか、予定価格が小さいため、随意契約としているものについては、複数の業者による見積り合わせを実施するなどして、経費の削減に努めていく。</li> </ul>			
組織・人員体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理人として臨時職員を 4 名雇用し、常時 2 名体制で管理を行う。管理人が業務で席を空ける時は、社会福祉協議会職員が対応する。</li> </ul>			
環境保護関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新潟市が運用する環境マネジメントシステムに協力し、省資源、省エネルギー、事務用紙等の廃棄物削減などの取り組みを積極的に行っていく。</li> </ul>			
社会貢献活動の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理人として高齢者を積極的に雇用し、高齢者の生きがい推進を図っている。併せて、地域の一員であることを忘れず、社会福祉協議会の業務を通じて地域に貢献している。</li> </ul>			
高齢者への配慮及びサービス内容の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の体調が悪くなった場合や施設内で困りごとが生じた場合等、遠慮なく職員に申し出が可能なようにし、併せて、職員に対しては常日頃から利用者の変化などについて注意をするよう促している。</li> <li>・利用者アンケートを実施し、利用者の要望などを施設の運営に活かしていく。</li> </ul>			
事故防止や災害発生時の対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の安全確保を重視し、施設内の巡回や点検を心がける。</li> <li>・併設されている老人デイサービスセンターと合同で、実践に即した避難訓練を年 3 回実施する。</li> <li>・緊急時においては「緊急時対応マニュアル」に基づき、通報連絡・初期消火・避難誘導・応急救護などを迅速に行う。</li> <li>・職員は A E D 講習を受講し、緊急時に対応できるようにする。</li> </ul>			
個人情報保護関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務上知り得た個人情報については、外部に漏らすことがないよう指導するとともに、個人情報記載された書類等についての管理を徹底する。</li> <li>・「個人情報保護規程」「コンピュータ情報システムの運用管理に関する規程」の順守を職員に周知徹底していく。</li> </ul>			
健康センターとの有機的活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康センター利用者へも老人福祉センターの情報を案内したり、保健師とも連携を図り、老人福祉センターの利用者への健康づくりにも努める。</li> </ul>			
地域及び他の関係機関との連携と啓発	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登録ボランティアによる芸能イベントを開催し、利用者とボランティアとの交流を積極的に図る。</li> <li>・自主事業や地域福祉推進に関する情報等について、広報誌掲載やコミュニティセンターへ情報提供を行い、広く周知に努める。</li> </ul>			